



横須賀市立大塚台小学校学校だより

大塚台の風



校長 山崎 亨

新体力テスト（キラキラオリンピック）これからが大事です

先週の数日間にわたり、学年・クラスで新体力テスト(キラキラオリンピック)が実施されました。新体力テストは自分自身への挑戦として捉え、昨年の自分、そして来年の自分と競うものとして位置づけることができます。



新体力テストは8種類の種目があり、小学校から高等学校まで実施されています。種目は筋力や柔軟性、持久力、敏捷性など、運動能力の基本となる8つの要素を測定します。これにより、自分の身体の強みや弱点、運動能力の全体的なバランスが客観的にわかります。

中でも最も過酷な種目といえば、20mシャトルランテスト(往復持久走)があげられます。アリーナの幅20mのラインに立ち、電子音が鳴っている一定時間内に何往復できるかを挑戦する種目です。最初のうちは電子音の速さがゆっくりなため、子ども達も余裕をもって走っています



が、回数を重ねるうちに電子音が速くなり、子ども達の顔から徐々に笑顔が消えていきます。クラスのみなどで走っていたのが、やがて数人にまで減ってしまいます。



そんな中、電子音を打ち消すかのように「がんばれ〜!」と仲間を応援する声と、走り終えた仲間を称える大きな拍手が響きわたります。そんな光景を目にし、

清々しさを感じています。



さて、この新体力テストですが、全ての種目が点数化され自分自身は何が得意で、何に課題があるの



かがはっきりしていきます。私はというと、子どものころから体の柔らかさを測定する「長座体前屈」（昔は立位体前屈と言っていましたか）が大の苦手種目でした。大人になるまで特に柔軟性を高めることなく生活してきたのですが、どうも怪我をすることが増えだし、ここ数十年は毎日激しい

腰痛に苦しんでいます。そのため日々ストレッチは欠かさず行うようにしています。

私たち大人は相当運動しても、現在の体力を維持するのが精一杯ではないでしょうか。しかし、子ども達は普段の心掛け次第で何倍も体力が伸びていくはずです。



本年度の新体力テストの結果をもとに、体育の授業や日常生活で、得意な運動能力をさらに伸ばし、苦手種目は克服していけるよう努力してほしいと思います。

責任感と危機意識をもって～不審者侵入職員研修～

25年前の平成 13 年（2001 年）、大阪教育大学附属池田小学校で、児童 23 人が殺傷されるという大変ショッキングな事件が起き、まだ記憶に残っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



この時の事件を受け、学校では不審者侵入などの緊急時における児童の安全を確保することを目的に、職員による不審者侵入研修が実施されるようになりました。

今回、横須賀南警察署生活安全課の方を講師としてお招きし、子ども達への避難誘導の仕方や、不審者



が侵入したときの対応方法、さすまたの使い方などをご教示いただきました。

この研修から、我々教員が子どもの命を預かっているという責任感と、危機意識の大切さをあらためて強く感じる事ができる時間となりました。